

経営比較分析表

三重県 東員町

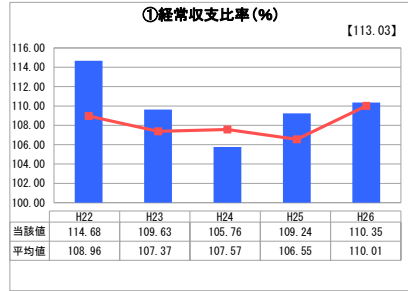
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.19	99.70	1,328

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,660	22.68	1,131.39
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,497	22.68	1,124.21

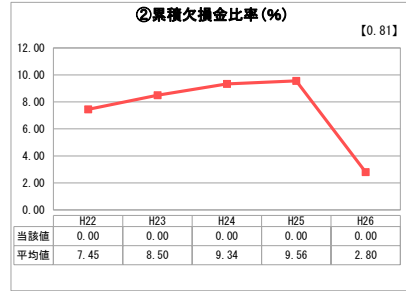
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

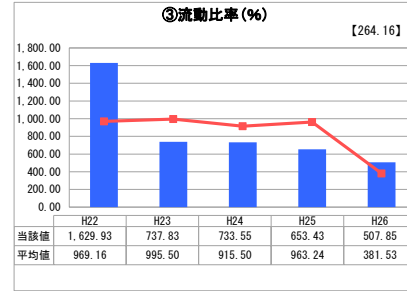
1. 経営の健全性・効率性



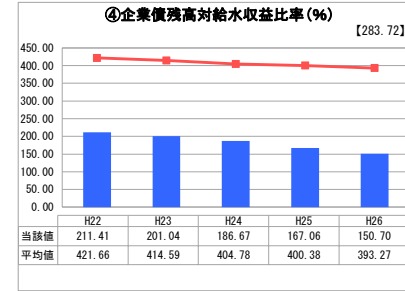
「経常損益」



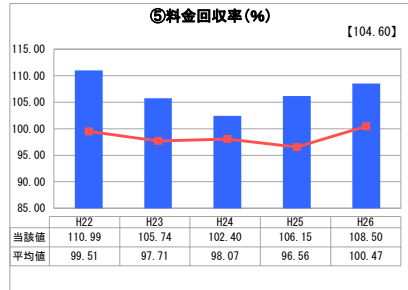
「累積欠損」



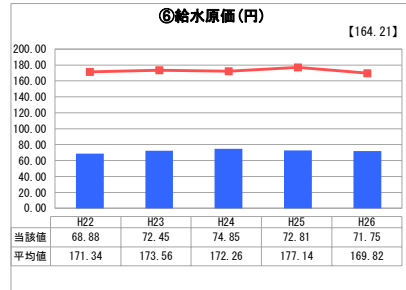
「支払能力」



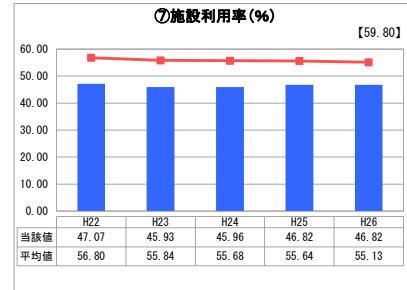
「債務残高」



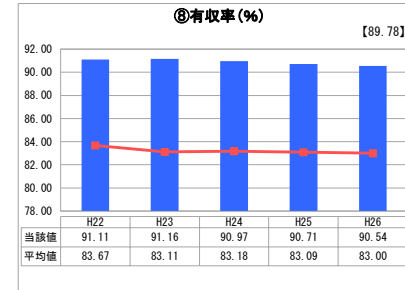
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

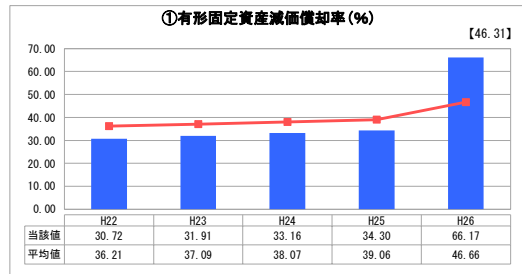
1. 経営の健全性・効率性について

施設利用率は平均を下回っており、今後の人口減少や節水型ライフスタイルの定着による水需要の減少が想定されることから、ダウンサイジング等による適正な施設規模を設定する必要がある。
 経営収支比率は100%以上を確保しており損失は生じていないが、今後の施設の老朽化に伴う修繕費用の削減、適正な料金の確保が必要である。

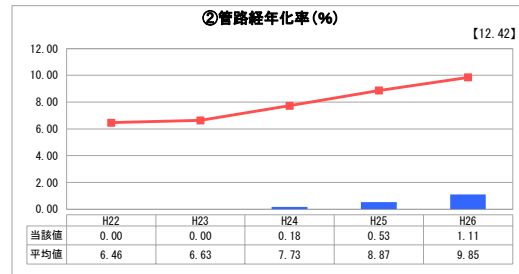
2. 老朽化の状況について

施設の老朽化率は現在低いものの、昭和40年代後半からの事業拡張により、法定耐用年数を超過する施設が急激に増加することが予測できる。
 このことから、施設の更新については耐震化も合わせて更新需要にかかる資金の見直しを立て、恒久的に持続可能な体制を構築する必要がある。

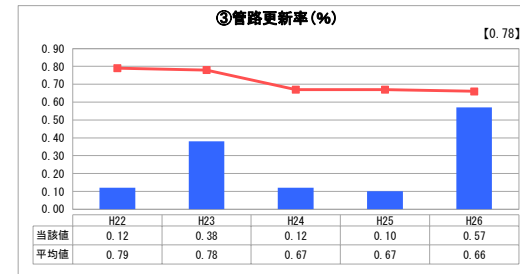
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

当町が保有している資産について、適正な資産管理(把握)を行い、計画的な施設更新投資、資金確保(料金の見直し)により事業の健全運営が必要と考える。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。